

行事報告書(研修)

報告者：華崎律子

行事名	自然観察会	
日時	2022年7月7日(木) 10時00分～14時50分 天候: 晴れ	
場所	甲山森林公園	
テーマ	夏期の樹木の生き様(“芽”の調査)	
講師	児玉 勝久さん	
参加者	24名	
内容 (概要)	<p>10:00～ 打ち合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暑い日だったので涼しい講義室で本日の観察の説明を受ける。 本日の観察内容は公園内の樹木の枝採取し、芽について観察、記録する。午後採取したサンプルを持ち寄って観察しあう。  <p>10:15～観察・サンプル採取開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3グループに分かれて出発する。ABグループ・・・西入口から野外ステージ CDグループ・・・緑橋から北入り口、展望台 EFグループ・・・みくるま池からレストハウス ・樹木の枝をサンプルとして採取し、小グループでルーペなどを使って観察し始めた。普段花や実を観察することはあってもこの季節に「芽」をじっくり観察することはなく、最初にごく小さな頂芽や側芽を見つけた時ビックリした。 ・観察し始めると、樹木によって「芽」がはっきりとわかるもの、まだよくわからないもの、既に側芽が展開し始めているものなどが出てきた。「芽」の形成は樹木の展葉の仕方と大きく関わっていると知る。どのグループも熱心に観察し合った。  <p>12:00 講義室で昼食、休憩</p> <p>1:00～児玉さんからの講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児玉さんから樹木の「芽」について詳しい発表があった。5月の研修会での展葉調査の発表をさらに進めた内容であった。落葉樹と常緑樹の展葉期間の違い、極小の「芽」の中にすでに葉や花が準備されていることなど興味深いものであった。  <p>2:00～ 切り枝サンプルを使っての室内での観察会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループが採取して来た切り枝サンプルをみんなでワイワイガヤガヤと観察し合った。葉の裏に樹木の名前を書いているチーム、名前を書いた封筒に入れているチームなどそれぞれ工夫が凝らされていた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <p>赤く色づいたイソノキの果実</p> <p>コブシの側芽 (花芽)</p> <p>ネジキの側芽</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・樹木がこの季節から「芽」を形成し展葉の準備をしていることに気づかされ発見であった。 ・暑い日であったが、木陰もあり、小グループで楽しく観察できた。また講義室は涼しく良かった。 ・秋期に今回と同じような”芽”の観察会をおこなっても良いのではとの意見もあった。 	